

郷土資源、文化財の活用

○県内の郷土資源や文化財を、実際に見学し体験できる学びの場として利用するなど、郷土への誇りや愛着をはぐくむ指導などに積極的に役立てましょう。

郷土資源は、県内における人材、組織、施設、自然、環境、産業、地理的・地形的要件等多種多様な要素を持ち、文化財(文化遺産)も含まれます。文化財は、長い人間の生活の中から生まれ、はぐくまれ、守り伝えられてきた貴重な国民的財産であり、歴史や文化等の正しい理解のために不可欠で、将来の文化の向上発展の基礎となるものです。[文化財の種類](#)については文化財保護法に規定され、国、県、市町村がそれぞれの基準に応じて歴史上・芸術上その他価値の高い文化財を指定し、保護の措置を執っています。県内にはたくさんの文化財があります。学習活動、教育課程等に積極的に活用しましょう。

1 郷土資源としての文化財の確認

まず、校区や地域にどのような文化財があるか、確認しましょう。国・県・市町村指定文化財は、指定する際に調査を実施しているので、本質的な価値が明確です。世界遺産も含め、書籍や[国\(文化庁\)・県](#)・当該市町村のホームページ等で所在や概要が確認でき、「[マッピングぐんま\(遺跡・文化財\)](#)」では国・県指定文化財(不動産の文化財)と遺跡を地図上で確認できます。

また、指定されていない文化財の中にも、貴重な価値を有するものがたくさんあります。未指定の文化財は、「群馬県史」や各市町村誌などで由緒や価値など具体的な内容が確認できます。県教育委員会主催の「埋蔵文化財専門講座」で教材化のヒントを得るのもひとつの方法です。文化財も含めて、郷土資源としての人材や組織、施設等は、各市町村教育委員会の文化財主管課や社会教育、生涯学習主管課に問い合わせてみるのもよいでしょう。

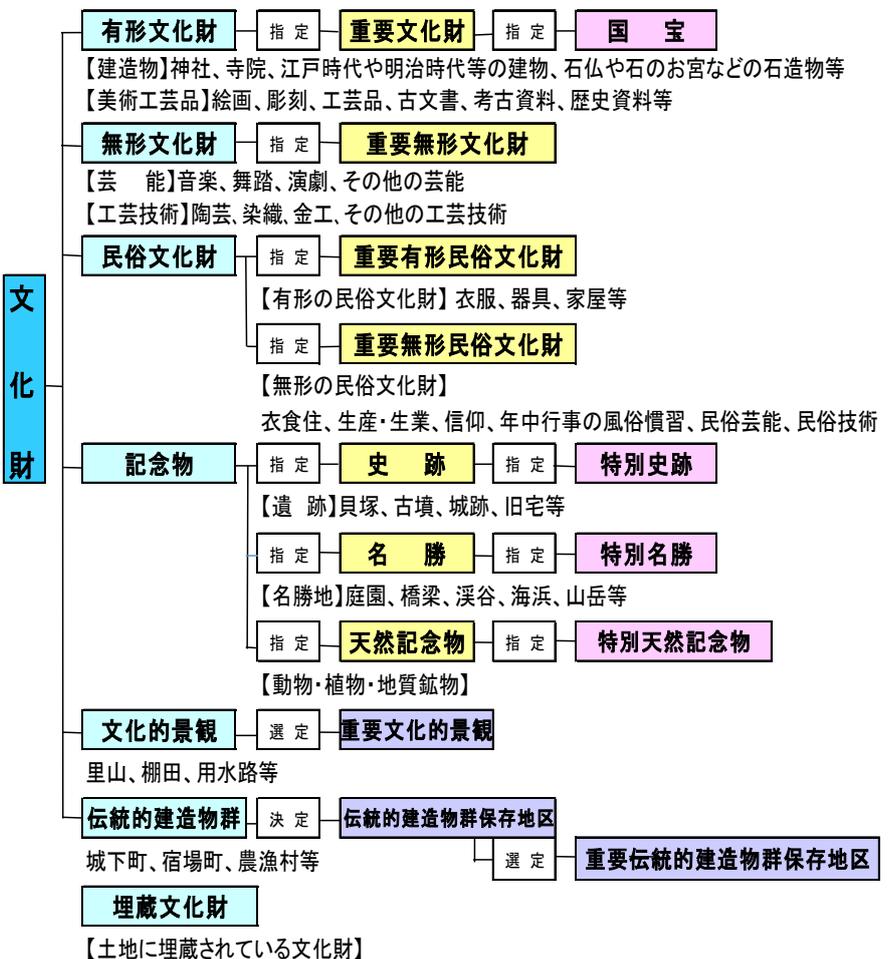
これらの活動は、赴任した際に行う校区巡りや校内研修等と結び付けて、校内の教職員の共通認識を図ることもひとつの方法です。

2 全体像の明確化

一教科、領域等における指導の目標の確認と年間指導計画への位置付け

今日では多くの学校で郷土資源を扱った学習活動を実践しています。そこで、これまで行ってきたそれらの学習活動を確認し、指導の目標等を意識し、単元の目標や授業のねらいを再確認するとともに、各教科、領域等の年間指導計画に改めて位置付け、指導の全体像を明確にする必要があります。それを踏まえ、指導の体系化を図り、より効果的な学習活動を目指し、内容の見直しや新規の学習活動を積極的に検討しましょう。

◆主な文化財の種類(文化財保護法に準拠)



3 文化財を活用した学び

文化財を活用した学びは、全教育活動の中で行うことができ、特色ある教育活動とすることができます。児童生徒に文化財の歴史上や芸術上その他の価値を正しく理解させるとともに、文化財を大切に、継承してきた人々の思いや努力に気付かせましょう。実際に文化財を見たり、学習した地域の伝統的な年中行事等に参加することが大切です。身近にある文化財に気付く、文化財を核のひとつとして地域社会の一員である自覚を促します。その結果、郷土の歴史や生活文化、伝統芸能などに愛着と誇りを持って語るができる第一歩になるのです。

4 郷土資源の活用の推進

郷土資源の活用にあたり、図書主任や司書教諭、学校図書館職員と連携した学校図書館の活用や、情報主任と連携したICTを活用するなど、校内組織や設備を活かしましょう。そして、自校の実態に応じて、郷土資源の活用積極的に取り組みましょう。

ア 学校支援センター、家庭、地域との連携

扱いたい文化財、特に地域の伝統芸能、伝統行事等については、学校支援センターや地域の組織、人材を活用し、地域の教育力を活かした学習活動を展開しましょう。

イ 世界遺産、ぐんま絹遺産、日本遺産との関連付け

各教科、領域等の特質に応じて、世界遺産の「[富岡製糸場と絹産業遺産群](#)」に触れる機会を設けましょう。さらに、県が登録を進めている「[ぐんま絹遺産](#)」や日本遺産「[かかあ天下ーぐんまの絹物語ー](#)」を参考にしながら、地域の絹産業遺産の存在に気付いたり、調べたりする活動を設けましょう。

ウ 東国文化に関する学習

本県が東日本最大の古墳大国であることや[上野三碑](#)(多胡碑、山上碑及び古墳、金井沢碑)など特色ある文化財に気付かせましょう。『群馬県古墳総覧』・『東国文化副読本』・スマホアプリ『ぐんま古墳探訪』を活用しましょう。

エ 文化施設等との連携

[県立歴史博物館](#)や[埋蔵文化財調査センター発掘情報館](#)などの[博物館](#)、[美術館](#)、[資料館](#)等との

連携を図り、実物資料を見たり、体験学習を取り入れたりして、効果的な学習の展開を図りましょう。また、[観音山古墳](#)や[上野国分寺跡](#)、[岩宿遺跡](#)、[保渡田古墳群](#)、[大室古墳群](#)、[矢瀬遺跡](#)、[金山城跡](#)などの整備された文化財を調べたり、見学をして、実感を伴う学習を図りましょう。

オ 尾瀬学校の活用

県主催の「[尾瀬学校](#)」では、学習プログラムによって国の特別天然記念物「尾瀬」の理解を深め、環境学習を行うことができます。

カ 課題の提示

夏休み等の課題として、文化財に触れる課題を提示しましょう。[文化財の絵コンクール](#)、作文、自由研究など、県や市町村での作品募集の活用によって、児童生徒が身近な文化財に関心をもつきっかけ作りとなります。

県内の主な国・県指定文化財	
国指定文化財等	県指定文化財
国宝 旧富岡製糸場(富岡市)	重要文化財
重要文化財	旧吾妻第三小学校校舎(中之条町)
妙義神社(富岡市)	木造広円明鑑禪師坐像(川場村)
碓氷峠鉄道施設(めがね橋など)(安中市)	お富士山古墳所在長持形石棺(伊勢崎市)
重要無形文化財	館林城鐘(館林市)
木工芸 須田賢司(甘楽町)	重要無形民俗文化財
重要無形民俗文化財	乙父のおひながゆ(上野村)
樋越神明宮の春鞆祭(玉村町)	尻高の人形浄瑠璃(高山村)
重要有形民俗文化財	千本木龍頭神舞(伊勢崎市)
上三原田の歌舞伎舞台(渋川市)	重要有形民俗文化財
特別史跡 多胡碑・山上碑及び古墳・金井沢碑(高崎市)	小川島の歌舞伎舞台(みなかみ町)
史跡 天神山古墳(太田市)	鳥追い祭りの太鼓(中之条町)
荒船風穴蚕種貯蔵所跡(下仁田町)	史跡 三津屋古墳(吉岡町)
名勝 楽山園(甘楽町)・湯畑(草津町)	古海原前1号古墳(大泉町)
特別天然記念物 尾瀬(片品村)	名胡桃城址(みなかみ町)
浅間山溶岩樹型(嬬恋村)	平井城跡(藤岡市)
天然記念物 薄根の大クワ(沼田市)	名勝 滝沢の不動滝(前橋市)
重要文化的景観 利根川・渡良瀬川	天然記念物 相生のマツ(桐生市)
合流域の水風景観(板倉町)	瀬林の漣痕(神流町)
重要伝統的建造物群保存地区	茂林寺沼及び低地湿原(館林市)
桐生新町(桐生市)・六合赤岩(中之条町)	天然記念物及び名勝
	蟬の溪谷(南牧村)